よこすかボランティアニュース

2021/5
198号

ボランティア「3つのあい」 であい ふれあい たすけあい

風を切り走り続けるボランティア

令和2年度厚生労働大臣表彰を受賞した丸山典（あつし）さんは、サウンドテーブルテニス（以下STT）のコーチ、審判、市内小中高ボランティアスクールなどで活躍しています。今回は丸山さんにこれまでの軌跡やボランティアに対する想いをうかがいました。

丸山さんは週末のミニバスケットボールの指導者をしていた現役時代を経て、「毎日が日曜日になる」と退職後の生きがい探しがきっかけでSTTと出会いました。自身のPCスキルで点字が出来ると知り、ライトセンターで視覚障害者の誘導を学びました。同時にSTTの存在を知り指導をスタート、地元横須賀に活動拠点を移しました。熱心な指導で教え子が国体で優勝し手腕を発揮、審判で全国を回る日々で、退職前より丸山さんの手帳は真っ黒になりました。これはボランティアが生き甲斐そのものの証。情熱を持って続けてこられたのは、心身の健康と家族の支えがあったからと丸山さんは言います。加えて、活動で広がる人との出会いも楽しみの一つだそうです。

ボランティアで大切にしている事はと聞くと「助けることではない、手伝うという意識、あくまでも対等である」と。ボランティアを始めたいと思ったら、あまり難しく考えず好きな分野を見つけちょっとやってみる感覚で良いそうです。

受賞の感想は、「賞はあとから付いてきたもの。ただ孫に褒められるのは嬉しい」と、終始さわやかに答えていました。

生涯現役と風を切って走り続けるボランティア精神は、受賞に値すると感じました。（Y・M）

※サウンドテーブルテニスとは、音の鳴るボールを使用しアイマスクをした状態で点数を競い合う、卓球をアレンジしたスポーツです。

第198号（令和3年5月発行）　※掲載内容へのお問合せ・お申込みはよこすかボランティアセンターまでお願いいたします

【編集・発行】 社会福祉法人　横須賀市社会福祉協議会　よこすかボランティアセンター
〒238-0041　横須賀市本町2-1　総合福祉会館4階　TEL:046-821-1303/FAX:046-824-8110　MAIL:shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

AA 横須賀グループ

アルコールの「とらわれ」からの回復を目指して！！

毎週水曜日、ボランティアセンターの活動室を利用して活動している『AA 横須賀グループ』にお邪魔して、男女４名の当事者の方からお話をうかがいました。

Q. 活動の目的は何ですか？

A. AA＝アルコホーリックス・アノニマス（無名のアルコホーリックたち）はアルコール依存症からの回復を目指す自助グループです。世界 180 以上の国と地域で、およそ 200 万人が AA のプログラムによって今日一日、「飲まない生き方」を続けています。日本では現在約 500 グループがそれぞれの回復のためにミーティングを行っています。一人では止められなかったお酒が AA の仲間と共にいることで、自然とお酒が止まっている、生きる喜びを感じられる、など当事者の体験談が分かち合われています。

Q. ＡＡの歴史は長いのですか？

A. １９３５年にアメリカで生まれ、日本では１９７５年に日本語のミーティングが始まりました。
２人のアルコホーリックであるニューヨークの証券マン〝ビル〟と外科医の〝ドクターボブ〟が酒に関するお互いの体験を語り合うことで、自然と飲酒が止まっていることに気づいたことから AA は始まりました。

Q. AA ミーティングとはどんな活動ですか？

A. 自分自身がアルコールを飲まない生き方をすること、現在飲酒の問題で苦しんでいる人たちに、飲まない生き方ができるよう手助けする活動をしています。ミーティングでは、〝話しっぱなし・聞きっぱなし〟で良く、質問や討議をして結論を出すための話し合いをすることはしていません。

Q. メンバーになるための条件は？

A. 飲酒を止めたいという願いだけです。また、プライバシーの保護には最大限の努力を払っているので、ニックネームでの参加も可能です。お酒の問題を抱えて悩んでいる方ならどなたでも安心してご参加いただけます。会費や料金を支払う必要もありません。

最後にチェアマンＫさんは、「アルコール依存症は精神と身体アレルギーの病気です。自制心が効かず、心身ともに苦しんでいる、お酒を止めて楽に生きていきたい、お酒で苦しんでいるというご本人はもちろん、ご家族の方も是非ＡＡの会場に来てください。」と話されました。
お酒は楽しく飲みたいものですが、体質や依存症で苦しんでいる人がいます。取材をした日のミーティングでも 20 数名が参加し、自身の過去の苦しみや現状の取り組みについて報告し合っていました。　（H・Y）

「withコロナ」 コロナに負けずに今年度も新たな一歩！！

ボランティア連絡協議会

令和3年度 年間活動計画（案）のご案内

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。コロナの発生により、昨年はガラリと生活が変わりました。活動されている方も行事の開催の有無や開催方法に悩むことが多い１年でした。今年の２月より国内でワクチン接種が始まりましたが、まだまだ状況を見ながらの活動になろうかと思われます。感染対策を行いながら、今年度も可能な活動を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◇定期総会

「ボラ連 40 周年記念事業を中心に新たな一歩へ！！」
日時：５月１５日（土）１３：３０～
場所：総合福祉会館　５階　視聴覚研修室

◇ボラ連創立４０周年記念事業

日時：１０月９日（土）１０：００～（予定）
場所：総合福祉会館　５階　ホール
内容：「式典」
「講演会」
神奈川県立保健福祉大学
名誉学長　　阿部　志郎　氏
「懇親会」
会費 2,000 円（当日徴収させていただきます）

◇あったかハート交流会・活動発表会

日時：１１月２７日（土）１０：３０～（予定）
場所：総合福祉会館　５階　ホール
内容：・障がい者団体の活動発表
・手話を学んでみよう
・体験発表

◇第５回ボラ連キックオフフェスタ

テーマ「新たな仲間を求めて」
日時：令和４年３月５日（土）１０：００～（予定）
場所：総合福祉会館　５階　全フロア
内容：・障がい者団体の活動発表
・ボラ連登録団体及び個人の活動発表

◇その他

「赤い羽根共同募金」街頭募金の活動（１０月上旬予定）

登録ボランティア団体活動紹介 29

逸見群読の会

一つの作品を読み合わせながら日本語の美しさを表現する群読は、声のコーラスと言ってもよいかもしれません。取り上げる内容は俳句、詩歌、小説、落語など多岐にわたっています。新型コロナウイルスの関係で現在は休止していますが、活動内容は月一回の定例会、年数回の高齢者施設への訪問および年一回の逸見コミュニティセンターの文化祭「つどい」発表会です。

高齢者施設訪問のある日の一例を紹介します。

会員の紹介と挨拶の後、まず「ふるさと」の斉唱で心を一つにします。群読では①万葉集…令和の由来にふれて万葉集を取り上げました。②思い出そう俳句…松尾芭蕉、小林一茶、正岡子規の有名な俳句を取り上げ、抜けている語句を思い出すゲームをし、全員で読み合わせます。「古池や　〇〇飛び込む　水の音」などです。③落語…「地獄のそうべい」では、軽業を失敗し地獄に落とされたそうべいが、一緒になった、やぶ医者や山伏達と助け合って生き返るという話で、落語の面白さを表現しました。④北原白秋…「祭りだ　わっしょい」では、全員でわっしょい！わっしょい！に合わせて、うちわを大きく振って盛り上げます。最後に、芹洋子の「四季の歌」をCDで流し全員で合唱しました。

終わった後、「本当に楽しかったわ」「久しぶりに若い頃を思い出したわ」「次はいつ来てくれるの？」という嬉しい言葉をいただきました。

会の発足から足かけ19年、海上和子先生のご指導のもと会員12名で活動しています。

会員募集中

ご一緒に楽しんでみませんか？

◇定例会　第2金曜日　13時～15時
◇場　所　主として総合福祉会館
◇会　費　1，250円／月
◇連絡先　会長　小峯　勇
046-848-1256

ボランティアセンターからのお知らせ

#remember311

令和３年３月１１日で東日本大震災からちょうど１０年が経ちました。節目の年となりますが、コロナ禍である今、気軽に集まることが難しい状況が続いています。

「3.11」の教訓を忘れることなく、被災地への想いを表現するため、平塚まち活が行なった『オレンジマスクキャンペーン』によこすかボランティアセンターも参加させていただきました。オレンジマスクをつけることで、集まったり言葉を交わしたりしなくとも、被災地を応援するお互いの想いが視覚で繋がり合えるという、コロナ禍だからこその被災地支援キャンペーンです。

みんなが感染の不安や、新しい生活様式に戸惑いを感じながら日々を過ごしてます。こんな時だからこそ、人を想う気持ちや、あなたのことを忘れてないよ…というメッセージは誰かの心を温め、支えとなるはずです。

優しい気持ちが広がっていきますように。

平塚まち活で行っている「ひらつな祭」のイメージカラーであるオレンジマスクをつけたよこすかボランティアセンター職員とフッピー。

ボランティアグループからのお知らせ

ゆらいく

活動内容：精神障がいのある方の子育て支援グループです。東京・横浜で活動していましたが、横須賀でも活動をスタートすることになりました。お子さん連れでご参加いただけます。これからパパ、ママになりたい当事者の方も是非ご参加下さい。

活動日：毎月第3金曜日
12時～16時

活動場所：総合福祉会館5階和室

ありがとうございます

皆さまからのご寄付は、市内の施設や団体に配布させていただいています。

ボラセンHP

寄贈品

2月
使用済み切手、ベルマーク

3月
使用済み切手、ベルマーク、額縁
オムツ、オムツパット

編集後記

新型コロナウイルスの感染対策で外出の自粛中だが、3月19日に横須賀文化協会主催の第一回ウェルシティ寄席に行ってきた。

江戸時代から伝承する日本の伝統和芸『落語』三優亭右勝、墨亭右柳、千壱夜舞歌、まじめ家金夢、アタチ稔（手品）、以上5名の出演者は汗を拭いながらの熱演で、日本の和芸を心ゆくまで楽しんだ。

特に、紅一点の千壱夜舞歌さんは身振り手振りが素晴らしかった。久しぶりに笑って楽しんで、気分転換をして英気を養うことができた。

東日本大震災は3月11日で10年になる。月日は流れる水のようだと言われるが、何年過ぎ去ろうとも忘れる事はできないだろう。

NPO法人「元気ハツラツ明るいまちづくり」代表　佐藤昌久さんの「横須賀は忘れない！」友好都市である会津若松復興支援のフェスタに微力ながらお手伝いさせていただいている。今回も福島の野菜を沢山売って、少しでも復興のお役に立てればと思う。

（K・I）